上越市の農業の将来は

櫻庭　節子（みらい）

Q 収入が不安定であることや、国の農業に対する希望的な長期ビジョンが見えないことで、後継者不足に拍車がかかっている。農業県の代表として、国に「食料安全保障に対する取組の強化」を強く訴えるべきではないか。

A 当市は国の食料安全保障を担う重要なエリアであるとの認識の下、関係機関と連携して各種施策を推進すると共に、農業の振興に向け、国に必要な支援・協力を求めていく。

Q 若手農業者の声を聴くために、意見交換などは行っているのか。

A 研修会や勉強会等の機会を捉え、様々な分野の若手農業者と意見交換を行っていく。

道路舗装・区画線の修繕を早急に

Q 道路舗装の破損が多く、補修までの時間もかかり危険な場合がある。また、区画線も消えている箇所があるが、市の対応方針はどうか。

A 債務負担行為の設定や国の補正予算を活用し、雪解け後からの工事の着手に努めている。

Q 長期的な市道管理の方針を聞きたい。

A 今後の道路施設の急速な老朽化に対し、計画的な修繕や更新に取り組むとともに、コスト縮減につながる予防保全型の管理への移行も見据え、財源確保を図りながら、市道の適切な維持管理に取り組んでいく。

今冬の大雪被害等への対応は

こんどう　彰治（市民クラブ）

Q 災害救助法が適用された地域以外でも住家が倒壊する恐れがあったため、県に対して適用基準の見直しを要望するべきではないか。

A 運用基準の見直しを働きかけていきたい。

Q 今冬は道路舗装の損傷が例年以上に多く見られた。パトロールや修繕方法を聞きたい。

A 合併前上越市では月2回、各区では月1回、職員と委託業者がパトロールを行っている。緊急性が高い損傷は、応急的にアスファルト合材を充填し、必要に応じてオーバレイを行う。

Q 上越妙高駅の市営駐車場では、排雪作業を行い、駐車スペースを確保するべきではないか。

A 委託業者と状況を共有し、適切に対応する。

Q 東口の短時間駐車場は、外国人も利用している。外国人向けの案内を掲出してはどうか。

A 令和7年度、英語表記の案内を掲出する。

八潮市の道路陥没を受けた当市の対応は

Q 令和7年度に予定している管路点検を、早急に実施できないか。

A 交付金の交付決定後、速やかに発注する。

レルヒ像のライトアップを

Q レルヒ祭を盛り上げるため、レルヒ像のライトアップの検討を行う考えはあるか。

A 実行委員会をはじめ、関係者と検討する。

住民組織存続に向けた市の対応は

滝澤　陽一（つなぐ）

Q 地域自治区単位で組織されている、いわゆる住民組織の存続に向けて、支援や対策が必要と考えるがどうか。

A 住民組織が今後も区内全域において公益的な活動を維持・継続していけるよう、地域自治の在り方の一つの項目として、具体的な方策を検討・調整していく。

ふるさと上越応援寄附金の活用を

Q 寄附者は寄附金の使途を選ぶことができるが、地域自治区を特定した寄附項目を増やし、地域の活性化に向けた財源を確保するべきと考えるがどうか。

A 現状でも特定の地域自治区を指定した寄附は可能であり、地域独自の予算事業の財源として活用している。また、ふるさと納税のポータルサイトで寄附をする場合でも、分かりやすい案内となるよう検討していく。

イノシシ対策の強化を

Q イノシシによる人身被害や、農作物被害に対する市の対策を聞きたい。

A 捕獲対策の強化、出没を抑制するための環境整備、人身被害の未然防止や出没した際の対応・啓発を実施するとともに、更なる有効な対策について、情報収集と研究を重ねていく。